



乳幼児医療に関する受付窓口
(市保健福祉センター1階、福祉課)

利用料の軽減が求められている。また、サービス利用限度額を超えた部分の支援、特養待機者の解消へ、施設整備の見込みは。
(鈴木)

【答】 保険料では、段階区分を県下最多の10段階とし、より所得に応じた負担としている。限度額を超えた場合の軽減策はないが、介護サービス利用助成券は約400人が利用。特養待機者数は約200人となっている。今後、グループホーム5ユニット、有料老人ホーム2カ所、特養1カ所整備する計画となっている。

◆県に窓口無料化の要望を
【問】 子どもの医療費無料化は順次拡大してきているが、窓口無料化については実現していない。単独での実施が難しい場合は県に要望すべきと考えるかどうか。
(柴田)



【答】 長野県においては、「長野県福祉医療費給付事業検討会」で当面窓口無料化は行わないという方針が示されている。現在、他県では実施している県もあるが、県内で独自に行っている市町村はない。

◆児童虐待の現状は
【問】 市内における児童虐待の現状はどうか。
(永田)

【答】 21年度は719件の相談を受け、内28件を虐待相談として対応した。
【問】 対応策は。
(永田)

【答】 児童への虐待が疑われる場合は、児童相談所を始め、要保護児童対策協議会に諮って、適切に対応している。

重油流出 対策と 交通網整備

◆重油流出対策は

【問】 社会福祉センターの重油汚染土壌の除去を重機によるオープンカットで。
(永井)

【答】 建物の下の汚染状況や地下水位が不明であり、今後の調査結果を見て、恒久対策を油汚染対策ガイドラインに沿って検討する。

◆社会福祉センターの今後は
【問】 土壌等状況調査の結果、新たな課題が見つかり、次の段階の調査を実施したいということだが、いつになったら根本的な対策が講じられるのか。どこかで最終的な決断も必要ではないか。
(柴田)



みどり湖に設置されているオイルフェンス

【答】 漏洩した重油による汚染の地下水を含めた公共用水域への影響を判断するための調査は重要と考える。これから実施する調査結果により、浄化方法など決定したい。調査のための調査はもう行わない。



整備が望まれる広丘東通線

◆都市計画道路について
【問】 今後の広丘東通線及び広丘西通線の整備状況はどうか。
(牧野)

【答】 市街地の東西横断機能の強化及び交通安全環境の向上に向け、鉄道と国道の立体交差整備を優先的に実施してきたところであり、現状では広丘東通線及び広丘西通線の整備率は26%と本市の平均改良率より低い状況である。

【問】 東西線は、中心市街地と本市の北部地域を結ぶ重要な幹線であり、本市活性化のためにも都市計画税も財源とし、